

7月の 園便り



26年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

卒園した保護者の方から次のようなお便りをいただきました。

「我が子は、ひらがなはまだ覚えきっていませんが、勉強も楽しんでいます。しまじろうや公文やドリルにあまり触れなかったのが、既成概念にとらわれずに自分でオリジナルのドリルを作ったり、さくらんぼ算を連結させたりして遊んでいます。文字も1年生の初々しい元気な字は、他の今まで就学前に書いていた子にはない良さがあって、あらためて早期教育をしないことの良さを感じています。枠にとらわれずに過ごせたよさを “青陵幼稚園に通わせながら、しまじろうやドリルをさせてしまっている、迷える（私も含めて）お母さんたち” に知ってもらえたらいいと思うこの頃です。」

このお便りを下さった方は、“迷える（私も含めて）お母さんたち”と表現されていらっしゃるように、たぶん、幼稚園にいらした頃は、このままでいいのか？大丈夫なのか？と思われて、しまじろうや公文が頭をよぎったことと思います。ところが、実際に一年生になると自分でドリルを作ったり、さくらんぼ算を連結させたりして遊んでいる、と書かれているように、算数を自ら取り組んで楽しんでいる姿が見られ、また、ひらがなも習った通りの正しい文字の形を生き生きと書いているのだと思います。

このお便りから感じることは、お子さんが主体性を持って物事に取り組んでいることと、自分に自信を持っていることです。なにより、自分でやりたいと思って取り組むことは、学習の効果を上げることと思いますし、さらに勉強が面白く感じることでしょう。

しかしまた、卒園された方から、幼稚園の頃に文字を教えなかったから、学校に行ってから子どもが苦労したというお話をまれに伺うこともあります。でも、ひらがなで苦労したというのは、初めのうちのことではなかったのでしょうか、それより、その後はどうだったでしょう。肝心なのは、主体的に意欲を持って取り組む力が育まれていたかどうかなのです。幼稚園と家庭とにおいて、子どもの主体性・自発性を尊重する生活をしていたなら、自ら興味関心を持って主体的に取り組む姿勢は育まれているはずです。この力が育まれていれば、やがて、持っている力を発揮するようになることと思います。

幼稚園において、子どもたちが主体的に取り組む活動というのが“遊び”なのです。自分でやりたい遊びを選び、自分で遊びを創造する、自分で一緒に遊ぶ友だちを決め、トラブルを乗り越えていく・・・こうした生活の中で主体性・自主性そして人間関係の力が育まれていきます。これからも、幼稚園では、主体性をもった意欲のある子どもたちを育てるために、子どもの思いを尊重し、やりたいことがやれる様に、保育者もさらに学びを深め、物的及び人的環境を整えてまいりたいと思います。

7月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:00	父母の会教養部主催「園長とのお話会」	が行われます。
2	水	○	2:00	じゃがいも堀に出かけます。	
3	木	○	2:00		
4	金	○	2:00		
5	土	×	11:30	自由登園日	つぼみの広場
6	日	/	/		
7	月	○	2:00		
8	火	○	2:00		
9	水	×	11:30	誕生会、7月生まれさんの保護者の方	と一緒に祝いましょう
10	木	○	2:00		
11	金	○	2:00		
12	土	/	/		
13	日	/	/		
14	月	○	2:00		
15	火	○	2:00		
16	水	×	11:30	誕生会、8月生まれさんの保護者の方	と一緒に祝いましょう
17	木	○	2:00		
18	金	○	2:00		
19	土	/	/	子育て講座「親子遊びの会」のため	自由登園はお休みです。
20	日	/	/		
21	月	/	/	海の日	
22	火	○	2:00	給食は本日で終わりです。	
23	水	×	11:30	午前保育 降園時間が早いので	よろしくお願いいたします。
24	木	×	11:30	第1学期終業式です。	
25	金			青ばらさん夏のお楽しみ会です。赤ばら白ばらさんは	夏休みです星の子は行います。
26	土	/	/	第4土曜日	
27	日	/	/		
28	月	/	/	赤ばらさんがスイカ割りの会を行います。	
29	火	/	/		
30	水	/	/		
31	木	/	/		